平成29年度行政評価 施策評価シート (平成28年度実績) 施策名 消防・救急体制の充実

				施策コード	040102	
1. 施策の担当						
主管課	市長公室	市民協働課				
関係課						

2. 総合計画に	2. 総合計画における位置 グリ										
総合計画	政策	第4章 安全で、ひとと地球にやさしい まちづくり(安全・環境)	節	第1節	消防・防災						
	施策	消防・救急体制の充実									

基本方針

- 地域住民に対する防火への啓発を進めながら、きめ細かな火災予防を推進します。
- ・ 急増する救急需要に対して適正利用の広報及び応急手当の普及啓発の強化を図ります。
- ・想定される様々な災害に備えて、迅速かつ的確な対応をとることができる消防施設の充実や消防装備の充実強化を進めます。

現況と課題

- ・ 全国的に住宅火災の低減が求められている中、啓発活動を通じて住宅防火を推進する必要があります。
- ・ 救命率向上のために、AEDの取扱いを含め救命処置に関する講習を積極的に実施する必要があります。
- ・ 適切な消防活動を行うため、消防救急無線のデジタル化に対応する必要があります。
- ・ 消防団活動の活性化を図るため、団員の確保、資質向上を図る必要があります。

施策目標

対象 (誰を、何を、どこを)

市民

意図(どのような状態にしたいのか)

火災予防に関する啓発活動を行い、防火意識の高揚を図ります。各種災害に即時対応できるよう消防団の装備の充実強化を図り、 市民の安全安心を確保します。

3. 市民ニーズ												
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30					
満足度(偏差値)	62. 2											
重要度 (偏差値)	65. 1			_	_							

4.	施策にかかるコス											
		単位	H27決算	H28決算								
コス	人件費		6, 818	8, 912								
トの	事業費	千円	14, 648	14, 458								
内訳	フルコスト		21, 466	23, 370								
	国庫支出金		0	0								
	府支出金		0	245								
日本が左	市債		0	0								
財源内訳	その他	千円	0	50								
PAIN	一般財源1(=フルコスト一特定財源)		21, 466	23, 075								
	一般財源2(=直接 事業費一特定財源)		14, 648	14, 163								

5.	施策の成果指標										
① 成	<mark>)成果指標1 町</mark> 会等に対しての防火教室実施率										
項目	H24実績	H25実績	責	H26実績	H27実	績	H28実績	H29計画	H30計画		
目標値	55. 0		60.0	65. 0		75. 0	80. 0	85. 0	90. 0		
実績値			58. 0	54. 0		44. 0	34. 0				
達成度	94. 36	Ç	96. 67	83. 08		58. 67	42. 5				
指標設	定の根拠	E	目指そ	う値の設定根拠		目標達	成・未達成の理由	・背景			
火災予 進んで のこと	室の実施率の増加防に対する市民へいることがわかりで市民の消防体制がわかります。	の啓発が 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ろと案直のると、設ししまれた。	実績を考慮し予測 手後を50%、10年後 した。平成22年度 、5年後を80%に 平成23年の参加が与 関連しい 見直し 増と見直した。	参を100% 実績を勘 没定を見 主催のてい 増を目標	実施で られ、	防に関する市民の きているが、草の 防火だけではなく 実施率の向上につ	根防災教室の要望 、救急講習などか	が市民から寄せ 「増加しているこ		

住宅火災警報器普及率 ② 成果指標 2 項目 H24実績 H25実績 H26実績 H27実績 H28実績 H29計画 H30計画 目標値 60.0 65.0 70.0 75.0 80.0 85.0 90.0 60.0 79.0 実績値 68. 2 61.4 69.0 98. 75 達成度 113.67 94.46 98.57 80.0

指標設定の根拠

目指そう値の設定根拠

目標達成・未達成の理由・背景

住宅火災警報器の設置率の増加により、住宅火災予防に対する啓発 が進んでいることがわかります。 このことで市民の消防体制に対す る関心度がわかります。 泉佐野市火災予防条例で平成23年 4月から既存住宅に対する住宅火 災警報器の設置が義務となること から、5年後を50%、10年後を80% と設定した。平成22年度実績値を 勘案して、5年後を65%に設定を 見直し、年5%増とし、最終目標 値を90.0とした。

平成23年度末が既存の住宅に対する猶予期限となっているが目標値とはかなり差があるため、今後は今まで以上の啓発活動が必要と考えられる。

③ 成果指標3 火災件数の推移

項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値		26. 0	23. 0	20. 0	17. 0	14. 0	11. 0
実績値		26. 0	25. 0	9. 0	22. 0		
達成度		100. 0	108. 7	222. 2	77. 3		

指標設定の根拠

目指そう値の設定根拠

目標達成・未達成の理由・背景

住宅火災警報器の普及、火災予防 啓発、消防訓練を含む草の根 訓練など、ハード面とソフト 充実強化による、市民の防火・ 災意識の高揚から、火災のないま ちづくりをめざし、市民の安心・ 安全の充実度を図ることができま す。 年間の火災件数を、毎年着実に減 少させることを前提に、年間3件 の火災件数を減らす目標とした。 H24市民アンケート調査の満足度の平均点は、51.3ポイントとなり、H19年調査時と比較して1.8ポイント上昇した。防火教室や自衛消防訓練等の予防活動を継続的に行っていることが背景にあると考えられる。

④ 成果指標 4 普通救命講習受講者数

項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	5, 500. 0	6, 500. 0	7, 500. 0	8, 500. 0	9, 500. 0	10, 000. 0	10, 700. 0
実績値	5, 776. 0	6, 535. 0	4, 551. 0	4, 423. 0	4, 230. 0		
達成度	105. 02	100. 54	60. 68	52. 04	44. 53		

指標設定の根拠

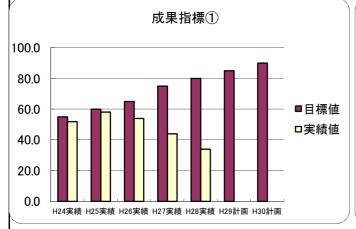
図

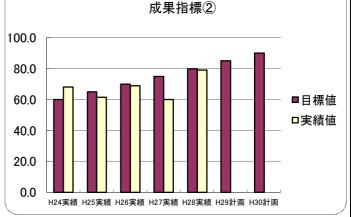
目指そう値の設定根拠

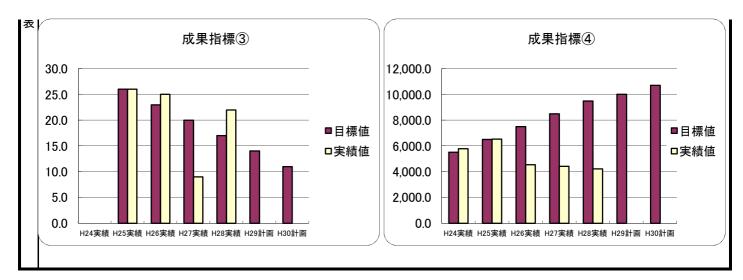
目標達成・未達成の理由・背景

普通救命講習受講者数の増加により、救急や救命に対する啓発が進 んでいることがわかり、救命率の 向上につながります。 心肺蘇生法が実施可能と思われる 10歳から65歳までの人口の1 6%(イノベーション普及率設 目標値としてH30年度10700を設定 し、平成30年度の目標年度を設 定していたが、啓発等により受講 者数が予想より増加傾向があるた め、最終目標年度を平成29年度 と1年前倒しした。

過去5年間の受講者数の平均は5,103人のため、目標達成までにはさらなる啓発活動が必要である。







6. 施策の	事後評価		
0. 200(00	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺 市との比較なども含む)	(4点中) 1	住宅用火災警報器の普及率は、まだ低い状況であり、更なる啓発が急務である。防火教室の実施については、草の根防災訓練との関係から実施回数は多くなっているものの、過去に実施していない地域からの実施要望がないため 昨年に比べて成果が落ちているが、今後は増加に転じるものと考える。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	H24市民アンケート調査の満足度の偏差値は、62.2となった。東日本大震災により自然災害に対する備えの重要性は高まっている。この状況の中で防災の最前線で活躍する消防に対する市民ニーズは今後更に大きくなると考えられる。
一次評価 (担当課に よる評価)	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、 国・府の政策の動 向、社会潮流など)	(3点中)	消防は、消火、救急、救助が主たる業務であるが、東日本大震災などの広域 災害や原子力事故などの特殊災害などに際して緊急援助活動の迅速性が大き く評価されており、今後も消防に対するニーズは更に大きくなると考えられ る。
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	В	継続した火災予防の啓発と、消防・救急体制の充実により、市民の安心・安全の確保が必要である。
			引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価(理	事者による評価)	В	引き続き目標値の達成に努めること。

7.	7.施策を構成する事務事業													
		事務事業		H28年度決算額		H29年度予算	一次評価							
	予算コード	ラ 算コード 事務事業名		事業費	一般財源	□Z9平及丁昇	一次評価							
1	01045400	消防活動事業(消防団)	8, 057	14, 034	13, 739	13, 769	В							
2	01045500	庁舎管理事業 (消防団)	855	424	424	745	В							
合計			8, 912	14, 458	14, 163	14, 514								